

目次

発刊にあたって	3
---------------	---

1 民医連のめざす看護の基本となるもの

第1章 民医連の看護の歴史	6
第2章 1. 民医連のめざす看護とその基本となるもの	21
2. 評価・検討シートの活用について、活用実践例	32
第3章 無差別・平等の地域包括ケア実現にむけた看護の提言	42

2 看護関連 公式サイト紹介

第1章 きらり看護 公式サイト	54
第2章 職員の健康を守る 公式サイト	60
第3章 SOGIEコミュニティ 公式サイト	62

3 新卒看護師受け入れ活動の基本となるもの

第1章 看護をめぐる情勢と民医連の看護師受け入れ活動の意義	67
第2章 学生受け入れの主な活動	70
第3章 推進体制の確立	75
第4章 県連間協力、地協・全国の取り組み	79
第5章 医系学生運動への参加(多職種協働の取り組み)	80
資料 SNSを安全に始めるために	82

4 資料

資料1. 日本国憲法	86
資料2. ICNによる「看護」および「看護師」の新たな定義	98
資料3. 民医連綱領	104

「民医連のめざす看護とその基本となるもの」改訂および『あすをつむぐ看護』の発刊にあたって

民医連の看護は「日本国憲法」と「民医連綱領」を根幹にすえ、すべての人が人間らしくその人らしく生きることを援助する「無差別・平等の看護」です。患者の立場に立ち、要求から出発し、ともにたたかう3つの視点と4つの優点を基盤に、総合性・継続性、無差別性、民主性、人権を守る運動を築いてきました。

2016年に発刊された「民医連のめざす看護とその基本となるもの」は、民医連の看護の理念と実践を学ぶ大切な教材として、歴史理解、事例検討、卒後教育など多くの場面で活用されてきました。しかし、社会情勢の変化やコロナ禍の影響、看護現場の課題の深刻化により、内容の補強と活用方法の見直しが必要となりました。全国調査では、教材としての広がりとともに、評価・検討シートの使いづらさや研修の困難さなどの課題も明らかになりました。

こうした声を受け、改訂版では従来の構成を活かしつつ、各地の実践を反映し、より柔軟に使える教材として再構築しました。「なんのために、誰のために」という問いを中心に、2040年代を見据えた看護の姿も示しています。

民医連は2023年に結成70周年を迎えました。無差別・平等、平和、人権尊重を掲げ歩んできた歴史の中で培われた「3つの視点・4つの優点」は、患者を丸ごととらえ、事実学び、仲間とともに問題を解決していく民医連の看護の核心であり、これからの実践を導く確かな力です。歴史に学び、先人たちが築いてきた到達を継承することは、「人間らしく、その人らしく生きることを援助する」看護本来の役割を未来へつなぐ土台となります。

また、民医連がめざす「無差別・平等の地域包括ケア」を実現するための提言書も作成しました。孤立や困難を抱える人に寄り添い、くらしと医療をつなぎ、多職種・地域・行政と協働して支える看護の役割は、これまで以上に重要になっています。

民医連の看護はこれまでも、社会の矛盾に向き合いながら、いのちに寄り添い、SDHの視点で健康権を実現するために行動し、患者・家族・地域とともに歩んできました。これからの民医連の看護をつくるのは、現場で日々向き合う一人ひとりの実践です。「ケアの倫理」を学び、語り合い、実践することは、看護の価値を社会に示し、社会を変える力になります。

仲間とともに学び合い、育ち合い、地域の人々とともにケアに満ちた社会を切り拓き、民医連の看護の継承・発展へとつないでいきましょう。

今回、民医連のめざす看護とその基本となるものの改訂を含め、新卒看護師受け入れ活動の基本となるもの、看護関連公式サイトなどを掲載し、『あすをつむぐ看護』としてまとめました。民医連の看護を担うすべての仲間にとって、日々の実践や学びの場で立ち返ることのできる確かな指針となり、ともに未来の看護をつくり出していく力となることを願っています。